



これ以上、 いのちを削らせない。

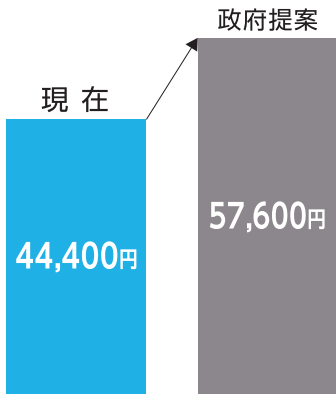
全ての世代に、負担増と給付の削減。

高齢者の患者負担 上限の引き上げ

〈2017年度から実施をめざす〉

高齢者(70歳以上)の入院と
外来(世帯合算)した場合の
窓口負担上限額(月額)

※一般所得(～年収約370万円)



子ども医療費助成への 国の罰則見直し ただし、未就学児に限定

現在、子ども医療費の窓口無料を行う自治体に対し、国が補助金を減額する罰則があります。自治体の反対をうけ、未就学児に限り罰則の廃止の方向。しかし、みんなの願いは国の責任で中学卒業まで、すべての子どもの医療費無料化です。



市販品類似薬の 保険外し

〈引き続き検討〉

すでに湿布の1処方あたりの枚数制限が実施されています。今後湿布やうがい薬、痛み止めなどを保険から外すことが検討されています。



要介護1、2の デイサービスなどは、 将来「総合事業」へ

要介護1、2のデイサービスなどを市町村の「総合事業」に移す方針です。これにより、利用回数が減らされたり、ボランティアに置き換えられることになります。



「負担増」「給付削減」はSTOP!
安全・安心の医療・介護の実現を求める署名にご協力をお願いします。

取扱団体

国の責任で お金の心配なく だれもが必要な医療・介護を 受けられるように

負担増、給付抑制を国民に強いる医療・介護改悪の中止を求める緊急署名

衆議院議長 様
参議院議長 様

｜ 請 ｜ 願 ｜ 趣 ｜ 旨 ｜

憲法で保障された社会保障は国の責任で実施すべきです。国の責任で、いつでも、どこでも、誰もが
お金の心配なく必要な医療や介護、社会保障を受けられるようにしてください。

「国保料が高過ぎて払えない」「窓口負担が高くて病院にかかれない」「利用料負担が高くて介護サー
ビスを減らした」「ひとり暮らしが大変。でも特養に入りたくても入れない」など、地域では必要な医療
や介護が受けられずに困り、医療や介護など社会保障の充実を求める声が日増しに高まっています。

その一方で声をあげることもできず孤立死や介護殺人に至るなど、痛ましい事件も後を絶ちません。
この上、患者・利用者負担増、医療保険や介護保険給付をせばめる「制度改正」が行われると、いっそうの
患者・利用者、家族への深刻な困難を引き起こします。

憲法25条に保障された社会福祉、社会保障の実現をめざし、国の責任で医療や介護を充実するよう、
下記項目をお願いいたします。

｜ 請 ｜ 願 ｜ 事 ｜ 項 ｜

- 1 保険料や自己負担を増やす計画をやめて国庫負担を増額し、医療・介護の保険料と自己負担
を引き下げてください。
- 2 公的保険の給付やサービスを削減せず、すべての人に安全・安心の医療・介護を保障してくだ
さい。
- 3 どこでも必要な医療や介護・福祉が受けられるように、入院・入所を制限せず、病院や介護・福
祉施設を確保してください。
- 4 医師・看護師・介護職員を増やして、医療・介護現場の労働条件の改善を図ってください。

氏 名	住 所

※この個人情報は請願以外には使用しません

署名(通称)「これ以上、いのちを削らせない」

ダウンロード集約表

印刷数を増刷した際も、お手数ですがお送り下さい。

署名取り組み状況集約のため、下記についてご協力をお願いします。

集約日	団体名(又は個人名) *署名をとり組む傘下支部等があれば記入下さい。	所在地 (都道府県)	署名用紙の 印刷数見込み
			枚

集約表の
送信先

k25@shahokyo.jp

中央社保協 FAX 03-5808-5345 / TEL 03-5808-5344

記入済みの署名用紙は、最寄りの社保協事務所又は参加団体へお寄せ下さい。